

(九月のことば)

宗 家

三百二十八名の熱海研修

世の為、会員の為、流統の為

己の人生の為に

師範活動ありきの大研修

熱海の研修を終えた。今年はお出席者数も努力目標を立てましたが、今迄で最大のお出席者数でありました。

先ずは各責任者の先生方に御礼申し上げます。信じられぬ、誇りもありました。研修は熱心のことだった。真剣さに溢れたものでした。

師範・準師範以外の方の参加は躊躇するものがありました。が、メンバーを見ましたら、それを心に意欲を感じてくださった方が多かった。時代の反映で、正規の年数を待てず推薦された方もおられたようです。

要は決まり事よりも内容であります。目的意識であります。私事ですが、準師範を戴く前に教場と担当した事も蘇りました。

ぼちぼちと若い人達の参加も目につきます。全国の責任者は決して焦らず、世の為にも人の為にも自分の為にと、有意義な事をしているんだ、導いているんだ、との確信を持って、今後とも活動されますようお願ひする次第です。

そして何事を持って先ず健康第一であります。そんな事も思ひ考へさせられた研修会でありました。

今年の後半に入ります。忙しくなりますが健康で今の秋を心から楽しませよう。

(令和元年九月)